双葉ホールディングス株式会社（持株会社・投資事業）

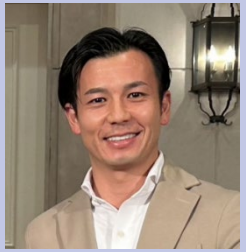
FUTABA HOLDINGS



双葉ホールディングス㈱社屋イラスト

〇本社所在地：北海道札幌市
〇事業概要：持株会社・投資事業
〇常時使用する従業員：68名
（グループ全体・2025年2月期）
〇現在の売上高：36.6億円
（グループ全体・2025年3月期）
〇法人番号：7430001088332
〇Web： https://futaba-hd.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役　阿部 淳一

地域と共に、次代をつくる。

双葉ホールディングス株式会社は持株会社として2023年に創業し、建設・解体・不動産・建機レンタル・産業廃棄物処理など、多様な事業領域を統括する企業グループを形成しています。
私たちは、「いのち輝く北海道」という理念のもと、地域に根ざした企業群の力を結集し、道内経済の持続的発展に貢献することを使命としています。
創業間もない企業でありながら、私たちは次の10年間でグループ年商100億円の達成を宣言いたします。
この成長目標は単なる数値の達成ではなく、「地域課題の解決」や「持続可能な産業基盤の構築」を通じて、北海道に新たな価値を創出する挑戦でもあります。今後も、グループ各社と一丸となって変革を恐れず、社会的責任と成長戦略を両立しながら、次世代に選ばれる企業グループを目指してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2025年5月期のグループ売上は42億円を見込んでおります（※様式2記載の数字に、双葉工建の売上増加分6億円を加味）。
2033年度の年商100億円の達成を中期経営目標に掲げ、年平均5～7%の持続的な成長を目指してまいります。

課題

〇各グループ会社の業務効率化・生産性向上（とくに建設部門・機械レンタル・不動産運用の収益構造の強化）
〇地域人口減少や人材確保難に対する労働力確保と育成
〇高齢経営者を抱える地域企業との連携を進めるうえでのM&A実務体制の整備
〇新規事業（観光・宿泊など）と既存事業の収益相乗効果の確立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

〇新規事業の立ち上げ（高付加価値宿泊施設等）
　→ 北海道の観光政策と連動した地域拠点づくりにより、交流人口・観光消費の拡大を実現
〇M&Aによるグループ拡大と再生支援
　→ 後継者不在企業へのアプローチを通じ、事業承継と経営再建を推進
〇既存事業の高付加価値化と業務効率化
　→ デジタル化・設備投資・人材戦略により、利益率と生産性の向上を図る
〇グループ間連携によるバリューチェーンの最適化
　→ 解体→再資源化→施工→賃貸・運用という循環型ビジネスモデルを推進

実施体制

〇経営トップ直下に『成長戦略推進本部（仮称）』を新設し、M&A・新規事業・DXの各テーマごとにプロジェクトチームを編成
〇各グループ会社の経営者・実務者層と定期的な「戦略会議」「業績レビュー」を行い、施策の見直しと成果の共有を徹底
〇外部専門家や地域金融機関と連携しながら、事業計画・財務戦略の精度向上を図る

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

100億宣言　双葉ホールディングス株式会社（持株会社・投資事業）

北海道を舞台に挑む――100億円達成に向けた進化と連携

双葉ホールディングスは、グループ中核企業である双葉工建が新たに手がけるインバウンド対応型ホテル事業を、高収益性と地域波及効果を兼ね備えた象徴的事業と位置づけ、観光分野への戦略的進出を進めていきます。

この事業は、政府の「観光立国推進基本計画」や北海道のインバウンド誘致政策とも連携し、地域資源を活かした高付加価値な観光拠点の整備により、観光消費の拡大・雇用創出に貢献するものです。観光客流入による飲食・交通・体験型サービス等への波及効果も見込まれ、地域のまちづくりにも寄与します。

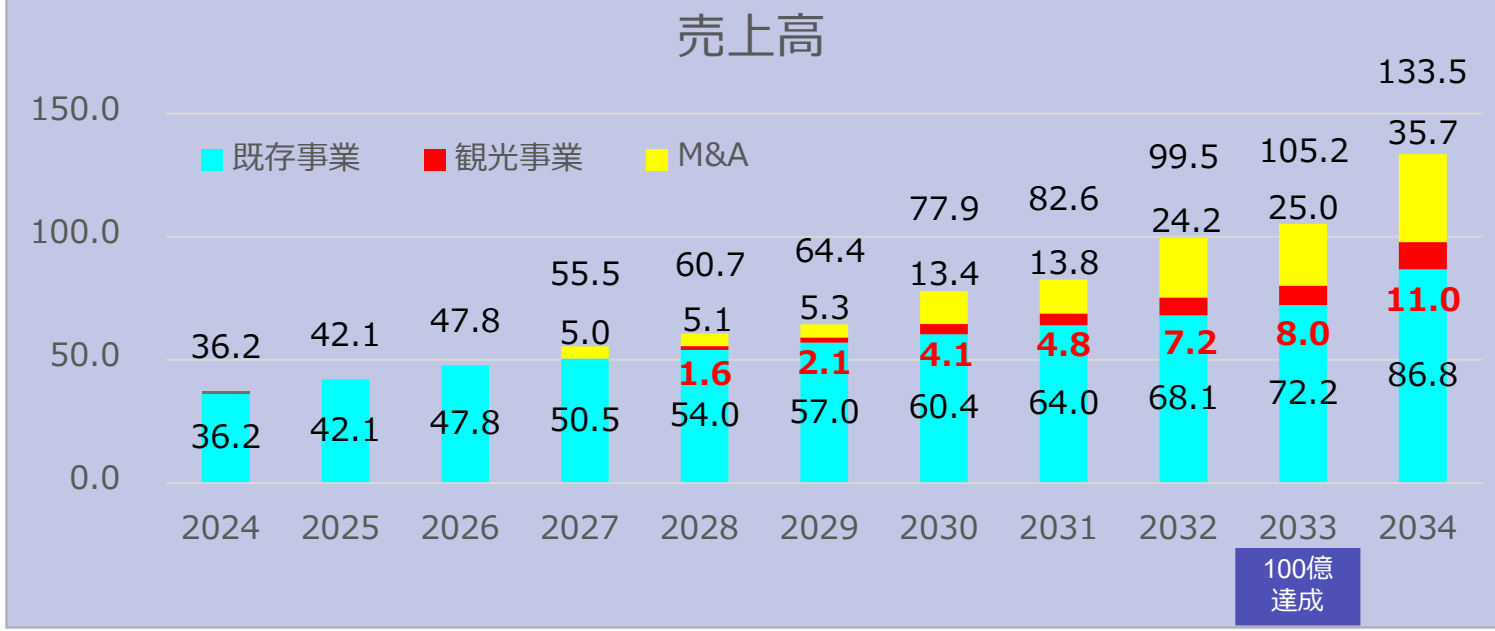
また、2027年以降は段階的なM&A戦略に着手し、後継者不在や経営難を抱える地域企業をグループに迎え入れることで、建設・解体・産廃・不動産といった既存事業とのシナジー効果を最大化。持続可能な経営再建と事業承継のモデルを構築しつつ、地域経済・雇用の下支えとグループ売上の安定・拡大を図ります。

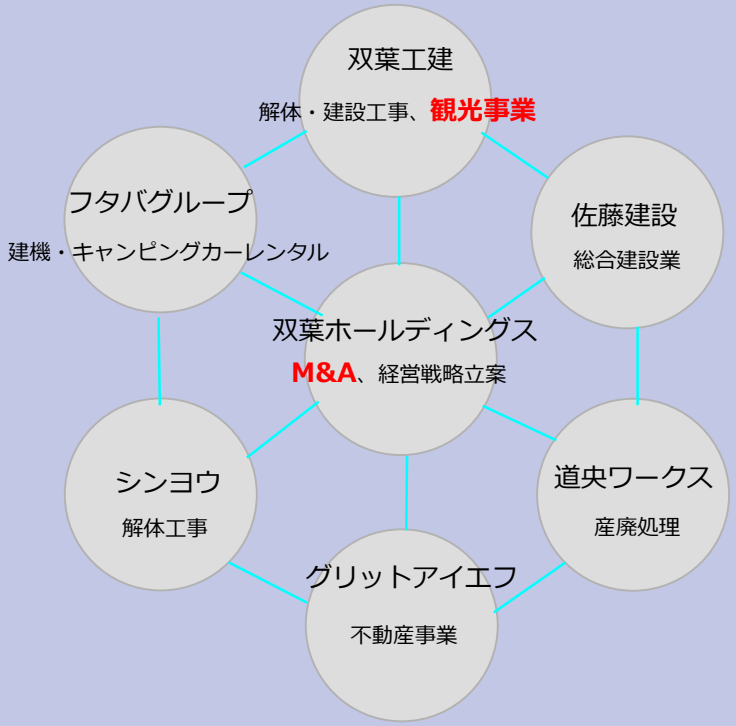
これらの戦略を支える実施体制として、グループ本部直下に『成長戦略推進本部（仮称）』を設置し、M&A・新規事業・デジタル化の3領域で専門チームを編成。地域金融機関や外部専門家との連携しながら、戦略実行とKPI管理を一体的に進めてまいります。

なお、双葉ホールディングスは、阿部淳一・亀谷亮太の代表取締役2名体制のもと、それぞれがグループ戦略の立案と現場実行の役割分担を担いながら、地域との連携と企業成長の両立に取り組んでいます。



阿部 淳一　　亀谷 亮太





○法人番号：6430001064292（㈱双葉工建）、1430001025340（㈱シンヨウ）、6430002042272（㈲道央ワークス）、7430001051736（佐藤建設㈱）
4430001016097（フタバグループ㈱）、9430001090419（グリットアイエフ㈱）